

# 第二章活用事例

「わたしの命は音楽とともに」

— ルートビビ・バン・ベートーベン —

小学校三・四年生版

「心しなやかに」 p.62 ~ p.67

## 【主題名】生命を輝かせて

第三学年及び第四学年 3 - (1)

「生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切にすべ。」

## 【ねらい】生命を大切に、「一生懸命に生きようとする態度を育てる。」

《ねらいとする道徳的価値について》三・四年生の時期の児童は、生き物の飼育などを通して、生命の尊さや大切さを実感しています。また、生や死といった命の営みだけでなく、人間の生き方そのものについても考えられる時期です。どんなに困難で挫折そうな時でも、よりよく生きようとする命を輝かせていくことの尊さに気付くことができるように指導することが大切です。



「いのちがかがやいていると感じるのは、どのような時ですか。」

○事前に「心しなやかに」p.110 「いのちをかがやかせよう」に記入させておき、発表させましょう。

○この資料は、1・(2)「希望・努力」などの道徳的価値との関連が考えられます。ねらいから外れないように、「生命尊重」の道徳的価値への方向付けをしましょう。

○題名の意味を考えさせ、主人公にとって音楽こそが命そのものというほど大切なものであることを捉えさせ、「今日は、命をかがやかせた人のお話をします。」と前置きして、資料に入りましょう。

○資料を読む前に、ベートーベンの作品や写真を紹介しましょう。事前に音楽の時間に「第九」などを聴いておくのもよいでしょう。

○教師が「わたしの命は音楽とともに」を読み聞かせましょう。ベートーベンの曲（例「月光」「悲愴」）をBGMとして流すと効果的です。



「耳が聞こえなくなっていくことを感じながら、ルートビビは、どのようなことを思ったのでしょうか。」

○ルートビビの不安や悲しみについて話し合います。手紙を書くに至った絶望的な苦しみを捉えさせましょう。



「心の中の音楽に気付いた時、ルートビビはどのようなことを思ったのでしょうか。」

○「心の中の音楽」に気付き、生きる希望を見いだしたルートビビの気持ちについて考えさせましょう。

《評価》 絶望を乗り越え、前向きに生きようとするルートビビの姿を通して、自分の命を輝かせようとする生き方の尊さについて理解を深めることができたか。



「拍手に両手を挙げてこたえた時、ルートビビはどのような思いだったのでしょうか。」

○音楽を追求することで再び命を輝かせたルートビビの生き方から、生命を大切にし、精一杯生きることの素晴らしさを実感させましょう。



「自分の命を輝かせたいと思うのは、どのようなことですか。」

○「心しなやかに」p.111 「いのちをかがやかせよう」を活用し、自分が命を輝かせたいと思うことを記入させ、発表させましょう。

○夢中になって何かに取り組んだり真剣に考えたりして一生懸命に生きようとするのが、生命を大切にすることにつながることに気付かせましょう。

○教師が感じた、児童の命の輝きのエピソードを紹介しましょう。

○写真や作文などを紹介すると、さらに効果的です。

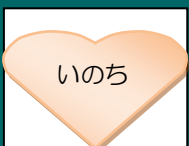
終末

展開

導入

## 【資料の特徴】「わたしの命は音楽とともに」は、世界的な音楽家 ルートビビ・バン・ベートーベンが、聴覚を失うという大きな困難を乗り越えて音楽を追求し、精一杯生きる姿を描いた資料です。「運命」「田園」など、傑作の多くが難聴になつてからの作品であったという事実からも、絶望を乗り越えたルートビビの生命の強さ・たくましさを感じます。苦しみや悲しみの中で自分と向き合い、よりよく生きようとする前向きな生き方について考えさせることのできる資料です。

## 板書例



いのちがかがやいている時  
うれしい 喜び 幸せ やる気がでる

ルートビビ・バン・ベートーベン

ルートビビの  
写真

二十代から音楽家として活躍  
音を聞き分ける能力  
音の組み合わせを作る能力

耳の病氣

耳が聞こえなくなっていくことを感じながら、ルートビビはどのようなことを思ったのでしょうか。

- 音楽家としてやっていけない。
- 美しい音や音楽が聴けなくなるのはつらい。
- 音楽ができないのは死ぬのも同じだ。

心の中の音楽に気付いた時、ルートビビはどのようなことを思ったのでしょうか。

心の中の音楽を  
聞いている挿絵

- 耳が聞こえなくても心の中の音楽がある。
- これからもたくさん曲を作りたい。
- 生きる希望がもてた。
- 勇気がわいてきた。
- 音楽がわたしに生きるように言っている。

はく手に手を挙げてこたえた時、ルートビビはどのような思いだったのでしょうか。

生きる力  
喜び  
観客に両手を挙げてこたえる挿絵

- 音楽の道をあきらめなくてよかった。
- もっとみんなに喜んでもらう音楽を作りたい。
- 生きていてよかった。
- これからも精一杯がんばろう。

いのちをかがやかせたいこと

- できないことに挑戦する。できた時のうれしさは最高だから。
- サッカーの試合で、いいプレーをしたい。だからがんばって練習する。
- 運動会の応援団で汗をかきながら練習した。つかれたけれど楽しかった。来年もやりたい。

《評価》 生命を大切にし、「一生懸命に生きようとする態度を育てることができたか。